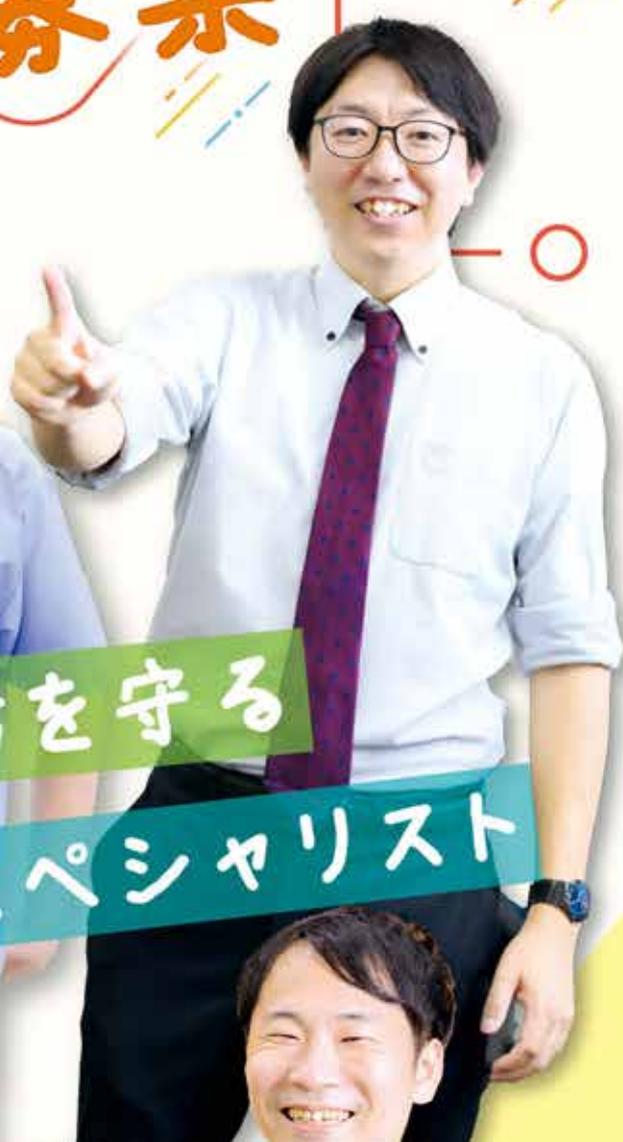


日本の
ひなた
宮崎県

公務員 薬剤師募集



県民の健康な生活を守る

スペシャリスト



宮崎県薬剤師採用案内

県民の健康と安心・安全な生活のために

— 公務員薬剤師は多方面で活躍できます —

宮崎県では、県職員が公務を担う全体の奉仕者であることや、県政を担う行政の専門家であること、地域社会を主体的に担う一県民であること等を踏まえ、次のような人材を求めています。



人間性豊かで 魅力ある人材

公務員として必要な高い倫理観・使命感とともに、誠実さや多彩な能力を持った、人間性豊かで魅力ある人



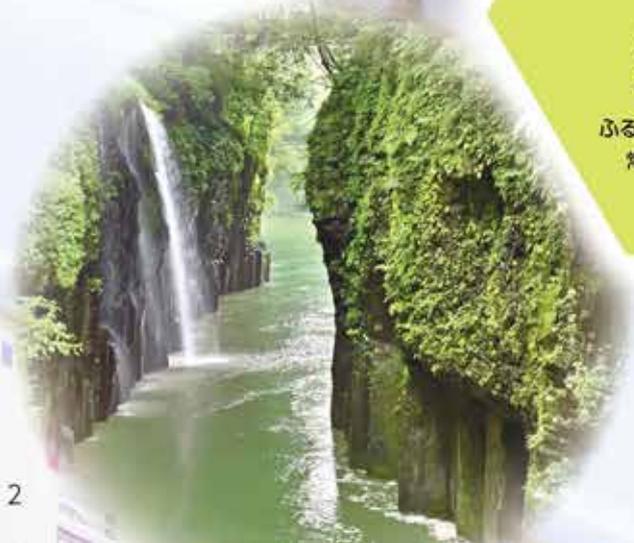
チャレンジ精神や成長意欲を 持った人材

時代の流れに対するアンテナを常に高くし、挑戦意欲や自己啓発意欲に富み、あらゆる環境や課題に対して柔軟な発想力を持った人



深い郷土愛を持ち、 地域に根差した人材

ふるさと宮崎を深く愛する心を持ち、常に県民に寄り添い、共に汗を流すことのできる人



宮崎県 公務員薬剤師とは

薬剤師は、本庁（県庁）、県立病院、保健所、衛生環境研究所などに勤務します。

本庁（県庁）では、医薬品製造業、薬局などの許認可や監視指導、麻薬や覚醒剤の取締り、さらには生活衛生対策など幅広く従事します。

県立病院では、調剤・服薬指導及び病棟薬剤業務に従事するとともに、がん認定薬剤師等の資格を取得し高度医療チームの一員となります。

保健所では、薬事監視員、食品衛生監視員などとして関係施設に対する立入検査・指導を行うほか、感染症や食中毒の発生に伴う検査など県民に密着した業務を行い、地域の公衆衛生の向上を図っています。

衛生環境研究所では、事業所の排水検査、医薬品や家庭用品の検査など、高度な試験検査を行います。



行政部門での薬剤師の主なおしごと

薬務感染症対策課薬務対策室

●●● 薬務担当 ●●●

- 医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器等の製造業、販売業等の許認可
- 医薬品等広告の指導 ● 血液行政の推進
- ジェネリック医薬品の安心使用促進
- 麻薬、覚醒剤等取扱者の免許
- 麻薬、覚醒剤等の薬物乱用防止対策
- 麻薬、覚醒剤等の事犯の捜査
- 毒物劇物営業者等の登録



麻薬・覚醒剤・大麻などの薬物乱用防止の普及啓発活動や、献血運動推進等の事業を行っています。

衛生管理課

●●● 環境水道担当 ●●●

- 水道事業の許認可、指導
- 飲料井戸等の衛生管理
- 理容所、美容所、クリーニング所、公衆浴場、興行場及び旅館の衛生確保
- 墓地、納骨堂、火葬場の許認可
- 建築物の衛生管理

県の予算を立案し、生活衛生や水道関係の業務を行い、県民の生活が豊かになるように努めています。



薬務感染症対策課

●●● 感染症対策担当 ●●●

- 感染症関係用務
- 感染症のまん延防止対策
- 新型インフルエンザ対策
- 予防接種の推進

エイズや梅毒などの性感染症のほか、新型コロナや結核など、様々な感染症のまん延防止の取組を行っています。



出先機関での薬剤師の主なおしごと

保健所 衛生環境課

●●● 衛生担当 ●●●

- 薬局等の許認可 ● 飲食店等の許可、監視
- 理美容所、クリーニング所等の検査、監視
- 遊泳用プールの衛生管理状況の検査、監視
- 薬物乱用防止教室の実施 ● 献血の推進 ● 食品衛生講習会の実施

学校での
薬物乱用防止教室



●●● 環境対策担当 ●●●

- 廃棄物の適正管理指導 ● 地域の環境保全指導
- 大気、水質及び土壌環境の保全 ● 環境教育、環境学習の実施

●●● 監視指導担当 ●●●

- 医薬品の製造所等への立入指導
- 薬局や医療機関等への立入指導
- 学校給食施設、大規模な食品製造施設等への立入指導
- 水道施設等への立入指導



許可更新施設立入



事業場採水

衛生環境研究所

●●● 企画管理課 ●●●

- 調査・研究の企画調整、他機関との連絡調整
- 宮崎県感染症情報センターの運営

●●● 衛生化学部 ●●●

- ダイエット用食品等の医薬品成分試験
- 家庭用品のホルムアルデヒド試験等
- 食品中の残留農薬及び残留動物用医薬品試験
- 食品中のアレルギー物質試験
- 温泉分析 ● 環境放射能測定

●●● 環境科学部 ●●●

- 大気汚染状況の監視 ● 工場などの排ガス測定
- 酸性雨の測定、解析
- 環境水、飲料水、工場排水等の試験検査
- 水生生物等による環境調査

食品中の残留農薬等検査



工場・事業場排水検査

県立こども療育センター

- 障がい児(者)療育の拠点施設である本施設において、内服薬、注射薬等の調剤

01 調剤

医師の処方に基づき、患者の皆さん一人ひとりに適したお薬の調剤を行うとともに、処方箋のチェックを行います。

02 注射薬の払出

患者の皆さん一人ひとりの注射薬に応じたセット払出を行うとともに、調剤業務と同様に注射指示のチェックを行います。

03 持参薬鑑別

安心・安全な薬物療法をめざして、患者さんが入院時にお持ちになった、普段お使いになっている薬の確認を行います。

04 院内製剤について

薬は製薬会社が製造し、供給しています。医師が診断・治療に必要な薬でも市販されていない特殊なものもあり、医師の依頼により製剤しています。

05 外来における薬剤師業務

- (1) 抗がん剤の服薬指導
外来の患者さんの中で、抗がん剤を使用される方を対象に、適正な薬剤服用及び副作用発現状況や副作用発現時の対処法などを服薬指導します。
- (2) 地域の薬局との連携
地域の薬局と協力・連携し、外来の患者さんの状態にあわせて適切に対応します。

06 病棟における薬剤師業務

- (1) 患者さんの薬に関する様々な注意点の確認
入院した患者さんと面談を行い、持参薬や市販薬・健康食品の利用状況、アレルギー歴等の得られた情報を医師等へ提供するとともに、処方設計や提案を行います。
- (2) 患者さんに対する薬の正しい使用方法や服用の意義などの説明と服薬支援(服薬指導)
患者さんが、ご自分の薬を正しく理解し、適切な服薬を行っていただくために、服用方法、副作用、飲み合わせ、保管・取扱方法等に関する服薬指導や、「お薬情報」の提供を行います。

県立宮崎病院

地域とともに歩み
良質で高度な医療を提供する
患者さん中心の病院を目指す



許可病床数

502床(令和6年4月1日現在)

診療科

内科、脳神経内科、腎臓科内科、小児科、新生児科、外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、産科、臨床検査科、病理診断科、血液科、化学療法科、精神科(精神医療センター)、救命救急科(救命救急センター)、総合診療科

主な機能

三次救急医療施設、救命救急センター
基幹災害拠点病院
地域がん診療連携拠点病院
エイズ治療中核拠点病院
地域医療支援病院
第1種・第2種感染症指定医療機関

県立日

患者本位の病院
高度で良質な医療を目指す病院
地域社会に貢献する病院



薬剤師は、お薬に関する次のような仕事を行っています。

07▶▶ 注射薬の調製

(1) 抗がん剤調製

抗がん剤は、投与を受ける患者さんと薬剤を取り扱う医療従事者への曝露防止等の安全性の配慮が大変重要となります。このため、注射薬の無菌性と調剤者の安全性が担保される安全キャビネットを用いて抗がん剤の調製を行います。

(2) TPN調製

食事が摂れない患者さんに対してTPN(高カロリー輸液)が実施される場合があります。輸液の投与は体の中心にある太い静脈(中心静脈)から直接投与するため無菌性が求められています。そのため、無菌室内のクリーンベンチを用いてTPNの調製を行います。

08▶▶ チーム医療

院内の様々な職種の職員が集まり、その専門性を生かしたチーム医療を行っています。薬剤師も感染対策、栄養管理、褥瘡対策、緩和ケア、医療安全対策などに参加し、指導や助言を行います。

09▶▶ 医薬品の品質管理・在庫管理

医薬品の有効性や安全性を維持するための品質管理や、適正な供給を行うための在庫管理に取り組んでいます。

10▶▶ 医薬品情報の管理

医薬品情報の収集、管理及び院内職員への提供、質疑応答などに努めています。また、患者さんへの情報提供やご相談に応じるなどの対応にも取り組んでいます。

11▶▶ 臨床試験(治験・臨床試験)、製造販売後調査等に関する事務

厚生省による承認前の薬剤(医薬品候補)を実際に患者さんに投与することにより、安全性や有効性を調べる「臨床試験」(治験)を行っています。

12▶▶ 各種審議会について

院内の特定の事項を審議する委員会等のうち、薬事審議会、化学療法委員会などの事務局を務めています。

南病院

許可病床数

281床(令和6年4月1日現在)

診療科

内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、薬剤科、臨床検査科、病理診断科

主な機能

二次救急医療施設
地域災害拠点病院
宮崎県がん診療指定病院
地域医療支援病院
第2種感染症指定医療機関



県立延岡病院

患者さん本位の良質で
安全な医療の提供

許可病床数

410床(令和6年4月1日現在)

診療科

内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、救命救急科(救命救急センター)

主な機能

二次・三次救急医療施設
救命救急センター
地域災害拠点病院
宮崎県がん診療指定病院
地域医療支援病院
第2種感染症指定医療機関



公務員薬剤師のとある1日



森岡 航平
もりおか こうへい

令和3年度入庁
延岡保健所

新人職員のとある1日

行政勤務



池宮 絢陽
いけみや こうよう

平成21年度入庁
福祉保健部
薬物依存対策課薬務対策室

中堅職員のとある1日

AM
午前

仕事への姿勢

現在、薬局、ドラッグストア及び病院等における医薬品販売や麻薬の取扱状況のほか、食品営業施設に対する監視指導に携わっています。医薬品・麻薬取扱施設では医薬品や麻薬を適切に取扱いができていないかの確認や期限切れの麻薬の廃棄の立会いを行っています。食品施設では施設の衛生管理などを確認し食中毒対策の助言等を行っています。

立入施設の担当者と協議する中で、施設が運用で疑問に感じていることがある際にはお話を聞き、必要に応じて助言を行っています。そうすることで、施設の方との信頼関係を大切にしながら、きめ細かな監視業務に努めています。

県の薬剤師は業務以外にも食品、水道、建築物衛生、生活衛生など多岐にわたって携わっています。業務内容が幅広いことで業務を覚えるのには時間がかかりますが、その分やりがいがあります。県民の皆様が安心安全に生活できるよう今後も励んでいきます。



新人職員

午前の仕事

- ・メールの確認
- ・立入
(医薬品・麻薬取扱施設、食品施設)等



PM
午後

仕事への姿勢

主な業務は、医療用麻薬や毒物劇物等に関する許認可事務及び指導取締等を行っています。

また、薬物乱用のない社会を目指し、青少年をはじめとする麻薬・覚醒剤等の薬物乱用防止に関する活動も重要な業務の一つです。

その他、災害時に必要な医療が提供できるように災害薬事に関する業務も担当しています。

業務対策室では、広く県民に説明する機会も多いため、できるだけ分かりやすく、丁寧な説明を行うよう心がけて取り組んでいます。

県の薬事行政の中心として、重要な仕事も多いですが、その分やりがいもあり、上司や同僚に助けをもらいながら業務に取り組んでいます。



中堅職員

午前の仕事

- ・メールの確認
- ・保健所や県民からの相談対応
- ・許認可審査等



午後の仕事

- ・会議や協議に向けた資料作成
- ・各種施設の検討等



メッセージ

「行政」と聞くと、真面目で仕事が難しいといったイメージがある方もいらっしゃると思います。実際は業務を学ぶための研修や優しい先輩も多いので、業務をひとりで判断するといったことはありません。様々な職種の方と交流もあるため、日々刺激をもらっています。定期的な異動についても、普段あまり行かない土地の魅力をたくさん知ることができそうです。

また、産休・育休や健康診断など福利厚生も充実しています。有給休暇の付与日数が多いだけでなく、取得しやすいため定期的な旅行に行きやすいなど、プライベートを充実させたい方も働きやすい環境となっています。

一緒に自分自身も大切にしながら、県民の皆様様の生活を守ってみたいませんか。

メッセージ

宮崎県の公務員薬剤師は、行政や病院などでさまざまな業務を経験することができます。はじめのうちは、異なる分野への異動で業務を覚えるのに苦労することもあります。病院で患者さんに対応した経験を活かして行政で施策を検討したり、行政での法的な知識が臨床の現場で役立つと、両方を体験することでのメリットも多く感じられます。薬事業界に広く関わりたい、貢献したいという方にオススメです。

また、キャリア中盤になるとそれまでの経験を活かし、特定の分野で専門性を極めたいという希望もできますので、柔軟なキャリアプランを形成することができます。

まだ、どの分野で働くか悩んでいる、いろいろな業務を経験してみたいといった希望をお持ちの方は、是非、宮崎県職員に御応募ください。



子育てしながら充実した仕事

宮崎県には、子育てをしながら働くための充実した福利厚生がたくさんあります。産休・育休制度はもちろん、子どもが未就学児のうちは勤務時間を短くすることができる部分休業等があります。また、子どもの急病時は子の看護休暇を取得することもできます。実際に私も子育て中のため、部分休業等を利用し、仕事と家庭の両立を図っています。さらに、年休や夏季休暇制度もあるため、子どもの行事に合わせて休みを取ることも可能です。とても子育てしやすい環境が整っています。



図師 麻希
ずし まき

平成25年度入庁 高嶺保健所

インタビュー
動画は
こちらから



公務員薬剤師のとある1日



濱砂 優一
はますな ゆういち

令和6年度入庁
県立宮崎病院

新人職員のとある1日

病院勤務



税所 美幸
さいしょ みゆき

平成23年度入庁
県立宮崎病院

中堅職員のとある1日

仕事への姿勢

病院での新人薬剤師プログラムに沿って、業務を行っています。現在は、調剤室での業務がメインですが、後半では、病棟での患者さんに対する業務も計画されています。

抗がん剤は、他の薬剤と比べて副作用が現れやすいことから、抗がん剤の無菌調製では、投与量や投与時間に注意して調製することを意識しています。

また、持参薬の受取で患者さんと接する際には、患者さんと同じ目線に立ち、話しやすい環境作りを心がけています。

まだ慣れないことばかりですが、1人でも多くの患者さんが笑顔で退院できるようサポートしていきたいと思っています。



新人職員

- 午前の仕事
- ・抗がん剤の無菌調製
 - ・調剤
 - ・高カロリー輸液の無菌調製 等



午後の仕事

- ・注射薬の調剤、監査
- ・持参薬鑑別 等



仕事への姿勢

日々、がんの治療のために入院されている患者さんを中心に、薬物治療管理(薬の説明や薬の飲み合わせ、サプリメントや食事が薬の作用に影響を与えていないかどうかを確認すること)や医師・看護師を含めた他職種に、薬についての情報提供等を行っています。

また、抗がん薬の調製や安全で適正ながん薬物療法を実施するため、がん化学療法レジメンの管理も行っています。

どの業務も、薬剤師同士はもちろん、医師や看護師、管理栄養士など多くの職種の方々と関わるため、情報共有やコミュニケーションの大切さを実感しています。

薬剤師として、患者さんの治療の支援ができることが大きなやりがいになっています。



中堅職員

- 午前の仕事
- ・調剤
 - ・病棟や医師からの問合せ対応
 - ・入院中のがん患者への指導準備 等



午後の仕事

- ・病棟や医師からの問合せ対応
- ・入院中のがん患者への指導
- ・がん化学療法レジメン(治療計画)の作成 等



メッセージ

宮崎県の公務員薬剤師は、本庁(県庁)、県立病院、保健所、衛生環境研究所など、様々な場所でいろいろな分野に携わることができるのが魅力です。

仕事を通して多くの出会いがあり、他職種の方々と連携を回りながら仕事をすることもあります。そのため、幅広い高度な知識が求められ、大変なこともあります。周囲に頼りになる先輩方が多くいらっしゃるため、安心して働くことができます。

また、年休や夏季休暇などの福利厚生も充実しており、ワークインライフの実現も可能です。

興味のある方は、ぜひ一緒に働きましょう。

メッセージ

病院薬剤師は、調剤や薬の説明以外にも、薬学的知識と経験をもとに、医師のタスクシフトや多くの職種と協働したチーム医療に参画する機会が多くなってきています。

より深い専門知識を求められるため、自身の研鑽とともに、薬剤師の仲間と助け合いながら業務に取り組んでいます。

また、患者さんへのよりよい治療につながるよう、地域の医療機関との連携強化や情報発信を目的とした、医療機関向けの研修会の開催や学会発表も行っています。

宮崎県の医療に貢献できる薬剤師として、一緒に働いてみませんか。



認定薬剤師として充実した仕事

薬剤師として、より専門的な知識と技術を身につけるため、令和6年度に、感染制御認定薬剤師を取得しました。資格取得には、「コメディカルスタッフ育成事業」というキャリアアップ支援制度を利用しました。資格取得にかかる費用を支援してもらえありがたい制度です。

ICTやAST関連業務ではこの資格を生かすことができ、中でも世界的に問題になっている薬剤耐性(AMR)への対策、抗微生物薬適正使用の推進に力を入れて取り組んでいます。



大森 開
おおもり ひらく
平成28年度入庁
県立延岡病院

インタビュー動画はこちら



Q&A

Q1 研修プログラムはありますか？

県では、社会情勢の変化や県民のニーズに対応できる職員の能力開発のため、さまざまな研修を行っています。



新規採用職員から管理職まで、それぞれの階層向けの研修をはじめ、個人の選択により「企画立案」、「交渉力」、「リーダーシップ」、「コミュニケーション」など、自分の能力を伸ばすことのできる数多くの分野の研修を準備しています。また、eラーニング研修では、入庁後、新規採用職員が最優先で受講できる約200種類のメニューがあります。そのほか、自主研究グループへの活動支援なども行っています。

このほかにも、複雑化、多様化する行政需要及び医療需要に的確に対応できる優れた人材を育成していくためのさまざまな研修制度があります。

●新規採用職員研修

県職員としての第一歩を踏み出した新規採用職員に対して、公務員としての心構えや仕事をしていく上で必要な基本的知識を学ぶ研修を実施しています。

●新採グループアドバイザー制度

新規採用職員が県庁生活に円滑に適應できるようにするため、先輩職員がアドバイザーとして悩みや相談などに応じる制度があります。

●コメディカルスタッフ育成事業(病院薬剤師)

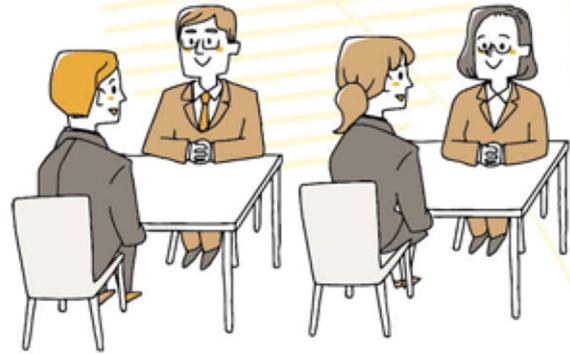
がん薬物療法認定薬剤師や感染制御認定薬剤師などの育成・更新のための補助があります。

●業務に応じた各種研修(行政薬剤師)

業務知識習得のための研修を受けることができます。

Q2 採用試験はどんな試験ですか？

人物試験(面接試験)を行います。



Q3 配属部署に関する希望を出すことができますか？

定期的に配属部署に関する希望等を伝えることができます。特定の分野に限定されることなく、様々な部署で経験を積むことが重要と考えています。



Q4 子育てと仕事は両立できますか？

子育てをしながら勤務している人は多くいます。育児休業や育児短時間勤務制度等があり、育児をしながらキャリアを積むことが可能です。



WORK LIFE BALANCE

ワークライフバランス

宮崎県では、ワークライフバランスをサポートするさまざまな制度があります。

出産休暇（産前・産後）

出産前・出産後の休暇を取得できます。

男性職員の配偶者出産休暇

妻の出産時・入退院時の付き添いのために休暇を取得できます。

介護休暇・短期介護休暇

要介護者の介護のために休暇を取得することができます。

育児休業・育児短時間勤務

子が3歳までなら一定期間休業でき、未就学までなら勤務時間が短くなります。

子の看護休暇・育児参加休暇

通常の年次有給休暇とは別に、子育てのために有給休暇を取得できます。

院内保育

県立病院においては、各病院に院内保育施設があります。

健康管理

職員の心と体の健康を守るため、次の事業を実施しています。また、希望者等への人間ドック、各種がん検診、歯科健診等を実施しています。

- ・定期健康診断
- ・健康指導
- ・健康教育
- ・ストレスチェック
- ・心と体の健康相談 等

共済制度

病気、けが、出産、休業などの際の給付や退職、障害、死亡に対する年金給付のほか、自動車や住宅などの取得に必要な資金の貸付けも行っています。

職員宿舎

職員宿舎（寮）が県内各地にあり、一定の条件により入居、入寮ができます。

スポーツ・レクリエーション

ソフトボール、バレーボールなどの球技大会やボウリング、運動会などのレクリエーション大会を行っています。

クラブ活動

サッカー、テニス、陸上などのスポーツクラブや音楽、英会話などの文化クラブがあり、活発に活動しています。

勤務時間

勤務時間は週38時間45分で、原則として月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで（休憩時間を除く。）となっています。

休暇

年次休暇は1年につき20日（入庁した年は15日）あり、その他に特別休暇等があります。

- ・夏季休暇
- ・結婚休暇
- ・出産休暇
- ・子の看護休暇 等

給料

新規卒卒者を例にとったもので、卒業後に職務経験がある人は、当該職務内容を考慮の上、初任給が決定されます。

	区分	初任給
薬剤師	大学卒業程度	222,700円 (令和6年4月1日現在)

ボーナス

期末、勤勉手当として夏（6月期）及び冬（12月期）合わせて4.5月分が支給されます。ただし、月数は変動します。

諸手当

県の規程に基づき、扶養手当、住居手当、通勤手当などが支給されます。そのほか、時間外勤務手当などの制度があります。



問合せ先

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号
 宮崎県福祉保健部福祉保健課・業務感染症対策課業務対策室
 TEL0985-26-7074

HPはキーワード検索にて

宮崎県職員採用案内



宮崎県 / 宮崎県病院局